

## 知事との県民対話集会（軽井沢町）概要

- ・開催日時 令和5年9月12日（火） 午後4時から午後5時30分まで
- ・会場 軽井沢町中央公民館 大講堂
- ・参加者 県民40名、土屋軽井沢町長、阿部知事、原佐久地域振興局長 他
- ・テーマ 長野県の東の玄関口としての軽井沢

### ・主な発言（要旨）

#### 【参加者】

- ・町内では、渋滞が多発している。国道18号バイパスの鳥井原東交差点における右折レーンの延長や中部小学校入口及び軽井沢中学校前の踏切部分の信号機と踏切の待ち時間の調整など、渋滞緩和策を検討してほしい。
- ・また、軽井沢ショッピングプラザ周辺にあるアンダーパスの部分も、年に何回か碓氷軽井沢インターチェンジまで渋滞が発生するので考えてほしい。

#### 【大瀬木佐久建設事務所長】

- ・鳥井原東交差点については、国の管轄であるため、国にいただいたご意見を伝えたい。軽井沢町の渋滞については、県と軽井沢町、小諸市、御代田町、警察、地元商業事業者等からなる軽井沢交通快適化対策会議で対策について打合せを行っており、その中で議論していきたいと考えている。

#### 【知事】

- ・軽井沢の渋滞問題は深刻に考えなければいけないと思っている。通年の問題と時期的な問題と整理し、ハード面だけでなくソフト面の対策も含め、町と解決策を考えていけるとよいと思う。

#### 【参加者】

- ・町でウェディング業界に携わる中で、式の参列者が、軽井沢しか観光しないことが多く、周辺地域に足を延ばしてもらえないことを残念に思っている。

#### 【知事】

- ・先日、しなの鉄道沿線の市町村長と懇談したが、軽井沢町への観光客が他の地域を訪れてくれないというのは共通の問題意識である。移動の足をどうするかや魅力を発信していかなければいけないという意見も出た。また、軽井沢も日帰りの観光客が増加しているが、滞在型の観光を目指し、体験型観光を増やすことやしなの鉄道沿線のワイナリーを巡るツアーの開催など様々な提案が出されたので、市町村とともに具体化していきたい。

#### 【参加者】

- ・移住してきた子育て世代として、軽井沢は子育て環境としては申し分ないが、子どもの医療費について、東京都は高校生まで無料だが、長野県では一律500円という点が気になっている。

#### 【知事】

- ・子育てに伴う経済的負担の軽減については非常に重要な課題である。現状、子どもの医療費の軽減策については、各都道府県で何らかの形で行っている。ナショナル・ミニマムになっているとも言えるため、都道府県各々で行うのではなく、国に制度化してほしいと要望しているところである。

#### 【参加者】

- ・近隣の市町村を観光する場合、公共交通機関の接続などが悪く、車しか移動手段がないのが残念である。また、観光PRも市町村ごとの単独で行っており、横のつながりが少ない。ソフト・ハードの両面で、市町村の横のつながりが取れるような仕組みがあるとよいのではないか。

#### 【知事】

- ・現在、県では交通系ICカードの導入を支援し、乗り継ぎをしやすくしようとしている。公共交通の利用者が減少する中ではあるが、新しい仕組みを講じることで、利便性向上に向けて取り組んでいく。地域の観光の連携については、広域的なDMOがもっと広がるよう働きかけているところである。

**【参加者】**

・町に移住者が増えているが、自治会に加入してもらえず苦慮している。また、消防団員もなり手が不足している。いざ災害があったとき、消防団員の力を借りなければ地域の住民は安心して生活できないので、団員を確保するためにどのようなことを行ったらよいか考えている。

**【知事】**

・自治会の話も消防団の話も、共助の部分が必要だという話であるが、未来に向けてどうあるべきなのか、住民の間で意見交換をしてもよいのではと思う。  
・消防団などの活動が、自分たちの暮らしを守ってくれているという思いを共有してもらえようということが県としてできることなのかなと思う。

**【参加者】**

・町内にある木製ガードレールについて、老朽化が目立つので新しくしてほしい。

**【大瀬木佐久建設事務所長】**

・定期的に点検しているが、木製ガードレールは鋼製のものよりも寿命が短い。また、設置のコストが高く維持管理費用もかかる。鋼製に変えるか木製で更新するかなど地域の皆様とも相談させていただきながら考えていきたい。

**【参加者】**

・軽井沢高校について、単位制を導入し、スポーツ科目を選択する生徒が多くなっているため、体育館や校庭等の整備が必要になっている。また、校舎は雨漏り等もあり心配である。今後の整備方針をお聞きしたい。また、通学について、最寄り駅から徒歩で20～30分かかるほか、高校周辺には移住者や高齢者が増加している状況なので、新たに軽井沢高校前駅を設置していただきたい。

**【知事】**

・県立学校の施設整備については、数が多いため、教育委員会で順次必要な改修等を行っている。駅の新設については、公共交通全体の経営が厳しいことなどがある中で即断できるものではないが、交通渋滞の問題も含め、どうやって既存の交通の利便性を上げるのか、あるいは今はない移動手段をどうつくっていくのかなど広く考えていきたいと思う。

**【参加者】**

・軽井沢は住民が多様化している。別荘の住人は住民票がないので、自治会に入るという発想がない。例えば、別荘の管理事務所が行っているバスの運行を行政が支援することなどの交通手段での結びつきにより、住民のネットワークが形成できるのではないかなと思う。

**【知事】**

・交通について、自家用有償旅客運送などの仕組みをもっと活用しないと移動の足を確保することは難しい。自治会で行っているところもあるので、もっと広げることによって自治会に対する関心を高めていくことが必要だと思う。